



2020年4月21日

各位

会社名 株式会社ティーケーピー  
 代表者名 代表取締役社長 河野 貴輝  
 (コード番号: 3479 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役最高財務責任者 中村 幸司  
 (TEL. 03-5227-7321)

### 通期連結業績予想と実績値の差異および中期経営計画の取り下げに関するお知らせ

2020年3月6日に公表しました、2020年2月期(2019年3月1日~2020年2月29日)の連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、同じく2020年3月6日に公表いたしました2021年2月期の中期経営計画の修正に関しまして、現時点で新型コロナウイルスの感染拡大の影響や終息時期が不透明なことから、同計画を取り下げることにいたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。2022年2月期の業績計画については、3月6日時点で取り下げを行いましたが、この度2021年2月期の業績計画についても同様に取り下げ、未定といたしました。なお、中期経営計画策定時、海外展開の加速を新たに加えた成長戦略等も取り下げとし、新たな国への海外展開については当面凍結といたします。

#### 1. 2020年2月期通期連結業績予想と実績値の差異(2019年3月1日~2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	(参考) EBITDA
前回発表予想(A)	百万円 54,280	百万円 5,770	百万円 4,050	百万円 820	円 銭 23.37	百万円 9,370
実績(B)	54,343	6,325	4,761	1,743	50.41	10,132
増減額(B-A)	63	555	711	923	—	762
増減率(%)	0.1%	9.6%	17.6%	112.6%	—	8.1%
(参考)前期通期連結実績 値(2019年2月期)	35,523	4,289	4,053	1,893	58.06	5,180

#### (差異の理由)

販売費及び一般管理費が想定よりも少なかったことにより営業利益が前回予想より555百万円上回り、営業外収益として為替差益等が発生したことにより経常利益が同711百万円上回り、見込んでいた特別損失が計上されなかったことにより親会社株主に帰属する当期純利益が同923百万円上回る結果となりました。

2. 2020年2月期～2022年2月期 中期経営計画の取り下げ

2021年2月期 連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年8月発表計画	百万円 69,150	百万円 9,617	百万円 9,038	百万円 4,456
2020年3月発表計画	62,000	3,200	3,030	890
今回修正予想	—	—	—	—
(参考) 前期通期連結実績値 (2020年2月期)	54,343	6,325	4,761	1,743

2022年2月期 連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年8月発表計画	百万円 79,326	百万円 12,471	百万円 11,918	百万円 6,406
2020年3月発表計画	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	—

(中期経営計画の取り下げの理由)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府よりイベントの自粛要請が行われたことをきっかけに、当社の運営施設においても大型宴会場を中心に利用減少傾向が続いております。また、2020年4月7日に政府より緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染拡大の終息時期や当社事業への影響見通しが立たない状況を踏まえると、現時点で業績予想を合理的に算出することが困難となりました。従いまして、3月6日時点で取り下げを行った2022年2月期業績計画に加え、2021年2月期の業績計画についても同様に未定とし、中期経営計画の全てを取り下げることといたします。また、中期経営計画策定時、海外展開の加速を新たに加えた成長戦略等においても取り下げ、新たな国への海外展開については当面凍結といたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上